

野球部 21世紀枠で選出

甲子園へ出場決定

近畿大会1回戦。東洋大姫路戦で2点目を挙げた場面。



1月23日(金)、3月21日から行われる第81回選抜高校野球大会の「21世紀枠」に本校が選ばれ、選抜大会に出場することが決まった。

文武両道 評価される



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

本校が同大会に出場するのは1950年、1953年以来56年ぶり3度目である。「21世紀枠」の滋賀県候補に選ばれたのは今回で4回目、近畿の代表に選ばれたのは7年ぶり2度目。「21世紀枠」は、戦績のほかに地域社会への貢献や学業との両立なども考慮されて推薦される。本校は、進学校として文武両道を実践していることが評価された。またグラウンドが狭いにもかかわらず近畿大会に過去10年で4度出場と、厳しい条件の中での実績も評価された。

会場の銀杏会館は報道陣でいっぱい。



23日15時、全国高等学校野球連盟から、若野哲夫校長先生あてに選抜大会の「21世紀枠」に決まったという電話があった。

校長先生

喜びの電話受け取る



「精一杯の準備をして甲子園に向かわせて頂きます」と応えられる校長先生。

この日、校長先生は銀杏会館で報道陣とともに電話を待つておられた。発表予定の15時を前に周囲の緊張は高まっていたが、15時すぎに電話が鳴り、校長先生は21世紀枠出場の吉報を笑顔で受けられた。出場決定の吉報は6時間目終了後、校長先生から野球部員に伝えられた。校長先生は甲子園出場について「念願が叶いました。野球部の活動はいつまでもなく、学校全体として評価される21世紀枠の意味を考えると大変光栄なことです」と笑顔を浮かべられた。